

事務事業コード	778110 778210 778310	事務事業名	国分中央高校維持管理事業	担当部	教育部
担当課				担当課	国分中央高等学校
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	管理グループ
施策名	1	学校教育の充実		電話番号	46-1535
基本事業名	7	高等学校教育の推進		内線番号	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 30 年度~)
	項	4	高等学校費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	1	高等学校総務費	根拠法令・条例等	
	コード	778110・778210・778310			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
国分中央高校は、「園芸工学科」「生活文化科」「商業科」「情報会計科」「ビジネス情報科」「スポーツ健康科」の学科がある。これらの特性を生かした確かな学力の定着に努め、多様な進路実現を図る。また、豊かな心を育て、地域・保護者から信頼され、期待される学校づくりに努め、魅力ある専門高校づくりを目指す。そのために高等学校運営の円滑な推進、学校施設・設備の不良箇所改善など維持管理に努め、安心安全な教育環境の整備を図る。施設・設備については月1回の安全点検による不良箇所の確認を行い、担当教諭と協議し修繕等を行う。 (平成22年度からイの意図、成果指標を変更)			・教室蛍光灯トランス取替え修繕 ・校舎爆裂修繕等 ・円滑な高等学校運営維持費の支出			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	安全点検回数	回	12	12	12	12
イ	資格取得試験検定回数	回	49	49	50	50
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	国分中央高校の施設	箇所	20	20	20	20
イ	国分中央高校の生徒	人	905	870	846	830
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	不良箇所の改善等により適切な教育環境を実現する。	件	17	34	17	17
イ	進路決定に役立つ学習をする。	%	85	85	85	86
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	教育環境が整う	%	91.0	92.0	87.5	
イ	専門性豊かな人材に育つ	人	761	866	450	

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
当初予算額	32,846	36,050
補正及び流用	▲ 327	
予算合計	32,519	36,050
国庫補助金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	31,823	
支出合計	31,823	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
高校設立時から円滑な高校教育の推進が行われている。	魅力ある専門高校づくりを進めるため、23年度新設学科再編を行う。校舎等の施設・設備の老朽化が激しいため、修繕箇所が増大している。そのため耐震補強工事等施設整備を進めている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
教職員から校舎・体育館等の修繕の要望がある。	議会で23年度新設学科に対して質問があった。その中で新設学科「スポーツ健康科」の施設の設備が十分であるのかなどといった意見があった。

事務事業 コード	778110778210778310	事務 事業名	国分中央高校維持管理事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	国分中央高等学校

単位:千円	平成23年度 (決算)			平成24年度 (当初予算)			平成25年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報 酬									
2 給 料									
3 職 員 手 当 等									
4 共 済 費									
7 賃 金	2,287		2,287	2,307		2,307	2,307		2,307
8 報 償 費	789		789	1,074		1,074	1,074		1,074
9 旅 費	3,742		3,742	4,180		4,180	4,180		4,180
10 交 際 費									
11 需 用 費	20,725		20,725	23,898		23,898	22,098		22,098
消耗品費	5,120		5,120	5,176		5,176	5,176		5,176
燃料費	84		84	110		110	110		110
食料費									
印刷製本費	757		757	788		788	788		788
光熱水費	12,829		12,829	14,524		14,524	14,524		14,524
修繕料	1,935		1,935	3,300		3,300	1,500		1,500
12 役 務 費	1,223		1,223	1,457		1,457	1,457		1,457
通信運搬費	895		895	911		911	911		911
広告料									
手数料	180		180	387		387	387		387
保険料	148		148	159		159	159		159
13 委 託 料	2,023		2,023	1,603		1,603	1,603		1,603
14 使用料及び賃借料	878		878	1,129		1,129	1,129		1,129
15 工 事 請 負 費									
16 原 材 料 費	53		53	270		270	270		270
17 公有財産購入費									
18 備 品 購 入 費									
19 負担金補助・交付金	103		103	132		132	132		132
20 扶 助 費									
21 貸 付 金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積 立 金									
26 寄 附 金									
27 公 課 費									
28 繰 出 金									
計	31,823		31,823	36,050		36,050	34,250		34,250

財源内訳	国								
	県								
	地 方 債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	そ の 他								
一 般 財 源	31,823		31,823	36,050		36,050	34,250		34,250
計	31,823		31,823	36,050		36,050	34,250		34,250

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 23 年度	当 初 予 算	32,846 千円		
	補 正 及 び 流 用	▲ 327 千円		
	第 1 回	第 5 回		
	第 2 回 (6月)	第 6 回 (9月)		
	第 3 回	第 7 回 (12月)		
	第 4 回	流 用 (3月)		▲ 327
予 算 合 計	32,519 千円			

平成 23 年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	円滑な高等学校の運営を行うことや安心安全な教育環境を実現することにより、専門性豊かな人材の育成や充実した高校生活を過ごすことが出来、就職・進学率の向上に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国分中央高校は、霧島市立高校であり、生徒の学校教育については市が事業を行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市立高校を対象としたものであり、適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	施設の老朽化が激しいため、修繕箇所が増大しているため、適切な教育環境はまだ、十分とはいえない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	適切な教育環境を形成するのが難しくなり、専門性豊かな人材の育成や生徒が充実した学校生活を過ごすことが出来なくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	経年劣化による施設の老朽化が著しく、不良箇所の発生件数が増えてきている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事務処理等は必要最低限度の業務時間で対応している。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っているか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国分中央高校生等の限定された適切な事業で高校教育として実施しており、受益の機会は公平といえる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	予算の範囲内で、修繕しているが、経年劣化による施設の老朽化が著しく、不良箇所の発生件数が増えてきているのが現状であり、生徒の教育環境の整備は不可欠である。そのなかで、蛍光灯トランス取り替え修繕等が発生し予算の流用(光熱水費の節減による予算残から)で対応した。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 毎月、校内安全点検を実施し、予算の範囲内で必要なところを優先順位をつけて修繕し、生徒の教育環境の整備を行う。また、23年度新設学科「スポーツ健康科等」の特性を生かした教育活動の取り組みを行うとともに、円滑な学校運営を行う。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 円滑な高等学校運営のために教育環境の整備や維持に取り組むとともに、本校の特性を生かした教育活動に取り組む。

事務事業コード	778110778210778310	事務事業名	国分中央高校維持管理事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高等学校

#### 4. 2次評価

##### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
  - 一部記述不足のところがある
  - 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている  
(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
  - 一部に客観性を欠いたところがある
  - 客観的な評価となっている

##### (2) 2次評価

2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

##### (3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	適切な教育環境を整備するとともに、生徒の資格取得を向上させることにより、成果向上の余地がある。
C 効率性	
D 公平性	

##### (4) 評価結果にもとづく今後の方向性

	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

##### (5) 具体的な改善計画 \* (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成25年度に取り組むべき具体的な内容 円滑な高等学校運営のために教育環境の整備や維持に取り組むとともに、本校の特性を生かした教育活動に取り組む。	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容 特になし
---	---------------------------------

事務事業コード	778212 778311	事務事業名	国分中央高校設備整備事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	国分中央高等学校
施策名	1	学校教育の充実		グループ	管理グループ
基本事業名	7	高等学校教育の推進		電話番号	46-1535
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S30 年度~)
	項	4	高等学校費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	1	高等学校総務費	根拠法令・条例等	
	コード	778212・778311			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績				
国分中央高校は、「園芸工学科」「生活文化科」「商業科」「情報会計科」「ビジネス情報科」「スポーツ健康科」の学科がある。これらの特性を生かした確かな学力の定着に努め、魅力ある専門高校づくりを目指す。特に各学科の取り組みにパソコンを利用した専門科目があり、学科の特性を生かした授業を行っている。平成23年度からは「商業科」と「情報会計科」を統合し、「ビジネス情報科」を開設し、従来の「総合実践」の授業にパソコンの充実を加えた。5年に一度パソコンを更新することで、生徒が最新の情報処理機器の技能・技術を習得でき、時代のニーズにこたえる人材育成にも繋がる。また、学校の備品を充足することで、教育環境の整備を図る。			・パソコンリース更新 ・備品購入				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	資格取得試験検定回数	回	49	49	50	50	
イ							
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	国分中央高校の生徒	生徒数	人	905	870	846	830
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	進路決定に役立つ学習をする	「進路について真剣に考え、模試や資格取得等積極的に取り組んでいる」と回答した生徒の割合	%	85	85	85	86
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	心身ともに充実した高校生活が出来るようになる	就職・進学率	%	95.4	98.6	95.0	
イ	専門性豊かな人材に育つ	高度資格取得者数	人	761	866	450	

(2) 事業費 単位:千円

	23年度 (決算)	24年度 (予算)
当初予算額	16,939	16,581
補正及び流用	81	
予算合計	17,020	16,581
国庫補助金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	16,954	
支出合計	16,954	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
学校設立から備品の充足に努めているが、特に昭和60年からパソコンを設置するなど年次的にパソコンを整備するなか、平成4年度からはパソコンをリースで導入し、5年ごとに更新している。	専門高校として平成23年度に「商業科」と「情報会計科」を統合し「ビジネス情報科」を開設するなど時代に即した学科再編を行った。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
教員等からパソコンリース更新時に、授業に対応した最新のパソコン機能の導入を要望されている。	特になし

事務事業コード	778212	778311	事務事業名	国分中央高校設備整備事業	担当部	教育部
					担当課	国分中央高等学校

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役員費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料				228		228	228		228
14 使用料及び賃借料	16,123		16,123	14,753		14,753	14,753		14,753
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費	831		831	1,600		1,600	1,400		1,400
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	16,954		16,954	16,581		16,581	16,381		16,381

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	16,954		16,954	16,581		16,581	16,381		16,381
計	16,954		16,954	16,581		16,581	16,381		16,381

補助率	国		
	県		
補助基本額			

平成23年度	当初予算	16,939 千円		
	補正及び流用	81 千円		
	第1回		第5回	
	第2回		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		流用	81
予算合計	17,020 千円			

平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	円滑な高等学校の運営を行うことや安心安全な教育環境を実現することにより、専門性豊かな人材の育成や充実した高校生活を過ごすことが出来、就職進学率の向上に結び付く。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなせ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国分中央高校は、霧島市立高校であり生徒の学校教育については、市が事業を行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市立高校を対象としたものであり、適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	備品関係については、経年劣化等で使用できないものもあり、まだ十分とはいえない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	設備を整備することは、市立高校にとって必須条件である。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	経年劣化等による設備の老朽化がふえてきているため、削減はできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事務処理等は必要最低限度の業務時間で対応している。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国分中央高校生等の限定等の限定された適切な事業で高校教育として実施しており、受益の機会は公平といえる。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 予算の範囲内で、年次的にパソコンリース契約を更新している。設備については、経年劣化等で老朽化するなど、生徒の教育環境はまだ、十分とはいえない状況である。

### 3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

#### (3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
予算の範囲内で、老朽化する設備については、優先順位をつけて整備していく。また、6つあるパソコン教室のうちの3号棟ワープロ実習室については、26年度の校舎解体に伴い、リース更新はせず、年間保守委託で対応する。残りのパソコン教室については、年次的にパソコンリース契約を更新し、生徒の教育環境の整備を行う。その他に緊急を要する事案については、迅速かつ安全確実に対応する。	老朽化する設備については、優先順位をつけて整備していく。また、5つあるパソコン教室については、年次的にパソコンリース契約を更新し、生徒の教育環境の整備を行う。その他に緊急を要する事案については、迅速かつ安全確実に対応する。

事務事業コード	778211	事務事業名	国分中央高校農場管理事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高等学校
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	管理グループ
施策名	1	学校教育の充実		電話番号	46-1535
基本事業名	7	高等学校教育の推進		内線番号	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 44 年度~)
	項	4	高等学校費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	2	高等学校管理費		
	コード	778211			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
園芸に関する基礎的・基本的な知識と技術を学ぶとともに、植物バイオ・情報処理等の先端技術を習得し、近代的・科学的な判断のできる農業経営者や農業の理解者になることを目指す。そのために園芸工学科生徒の授業・農業実習として、小畑農場の適切な管理と学校施設・設備の不良箇所改善など維持管理に努め、安心安全な教育環境の整備を図る。安全点検による不良箇所の確認を行い、担当教諭と協議し修繕等を実施する。 (平成22年度からイの意図、成果指標等を追加) (平成23年度から対象指標のイを変更)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロバスシートカバー脱着取替修繕</li> <li>・小畑農場外線取替修繕</li> <li>・その他修繕</li> <li>・円滑な農場運営の維持及び農業指導学習に要する経費</li> </ul>			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	安全点検回数	件	12	12	12	12
イ	生産物売上高	千円	4,189	4,599	4,231	4,400
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	国分中央高校の施設	箇所	18	18	18	18
イ	国分中央高校の生徒	人	118	118	114	118
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	不良箇所の改善等により適切な教育環境を実現する。	件	16	15	18	18
イ	農業実習を通じて農業関係企業の就職や農業系の進学者数を増やす	人	6	7	7	8
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	心身ともに充実した高校生活が出来るようになる	%	95.4	98.6	95.0	
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
当初予算額	5,740	6,032
補正及び流用	250	
予算合計	5,990	6,032
国庫補助金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	4,599	
一般財源	1,304	
支出合計	5,903	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
園芸工学科があることから生徒の授業・農業実習のために始まった。また、農場新設から施設の維持補修が始まった。	草花等の育成に地下水を利用していたが、ここ2.3年で草花等の生育が順調でない原因を調査したところ、水質検査でアルカリ度が高いことがわかった。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
園芸工学科の教員から、施設の老朽化が激しく改善してほしいとの要望がある。	特に無し



事務事業コード	778211	事務事業名	国分中央高校農場管理事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高等学校

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費	106		106	140		140	135		135
10 交際費									
11 需用費	4,089		4,089	4,145		4,145	4,310		4,310
消耗品費	2,090		2,090	2,300		2,300	2,400		2,400
燃料費	429		429	401		401	410		410
食料費									
印刷製本費									
光熱水費	676		676	784		784	680		680
修繕料	894		894	660		660	820		820
12 役務費	522		522	522		522	562		562
通信運搬費	35		35	39		39	40		40
広告料									
手数料	245		245	300		300	280		280
保険料	242		242	183		183	242		242
13 委託料	748		748	749		749	751		751
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費	93		93	97		97	100		100
17 公有財産購入費									
18 備品購入費	220		220	270		270	200		200
19 負担金補助・交付金	27		27	27		27	27		27
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費	98		98	82		82	82		82
28 繰出金									
計	5,903		5,903	6,032		6,032	6,167		6,167

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	4,599		4,599	4,231		4,231	4,500	
一般財源	1,304		1,304	1,801		1,801	1,667		1,667
計	5,903		5,903	6,032		6,032	6,167		6,167

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	5,740千円		
	補正及び流用	250千円		
	第1回		第5回	
	第2回		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		流用	250
予算合計	5,990千円			

平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳	
生産物売払収入	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	778211	事務事業名	国分中央高校農場管理事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高等学校

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	小畑農場の修繕を実施し、不良箇所を改善を行い、安心安全な施設を実現することにより、専門性豊かな人材の育成や充実した高校生活を過ごすことが出来、就職・進学率の向上に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国分中央高校は、霧島市立高校であり、生徒の学校は教育については市が事業を行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市立高校を対象したものであり、適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	施設の老朽化が激しいため、修繕箇所が増大している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	適切な教育環境を形成するのが難しくなり、専門性豊かな人材の育成や生徒が充実した高校生活を過ごすことが出来なくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	経年劣化による施設の老朽化が著しく、不良箇所の発生件数が増えてきている。また、生産物育成に必要な消耗品が不足している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事務処理等は必要最低限度の業務時間で対応している。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国分中央高校生等の限定された適切な事業で高校教育として実施しており、受益の機会は公平といえる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	必要なところを修繕しているが、経年劣化による施設の老朽化が著しく、不良箇所の発生件数が増えてきているのが現状であり、生徒の教育環境の整備は不可欠である。その中で、年度後半にマイクロバシートの破損修繕等が発生し予算の流用(光熱水費の節減による予算残から)で対応した。また、23年度は全国お茶まつり・霧島ふるさと祭等大きなイベントがあり、生産物売払収入の増につながった。	

### 3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

#### (3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
水道管敷設工事など優先順位をつけて修繕し、生徒の教育環境の整備を行う。また、各種イベントに参加し学科の紹介や農産物の販売を行い、地域との連携を行うなかで生産物売払収入を増やす努力をしたい。	生徒の教育環境を維持するため、不良箇所の修繕を行う。また、各種イベントに参加し学科の紹介や農産物の販売を行い、地域との連携を行うなかで生産物売払収入を増やす努力をしたい。